

はじめに

会社員の「つくる仕事」って、 どんな仕事？

会社が販売する物やサービスを、
ゼロから生み出す仕事です

私たちは生活のなかで、さまざまなものを
使っています。食品や飲み物、薬、
洗剤やハブラシといった生活用品、電子
レンジや冷蔵庫などの家電、文房具、カ
メラ、洋服や靴……。こうした身の回り
のもの多くは、会社（企業）がつくり、
売っています。そして、私たちはそれら
をお金で買って暮らしています。

形のあるものばかりではありません。
テレビ番組や音楽、ゲームソフトといっ
た制作物（コンテンツ）、スマホのアプリ

のようなITサービスをつくって販売
する会社もあります。

会社は、よりよい物やサービスを提供
することで、利益を上げるとともに、私
たちの暮らしを豊かにしています。

会社の一員として働く人のことを「会
社員」といいます。会社員というと、机
に向かって仕事をしている人のイメージ
が強いかもしれませんが、会社員とし
て、ものづくりにたずさわっている人
も、じつは数多くいるのです。



一つの商品をつくり上げるために、
さまざまな職種の人たちが協力！

会社が販売する物やサービスをまと
めて「商品」と呼びます。会社が利益を
上げるには、みんなが買いたくなるよう
なすぐれた商品を、できるだけお金や時
間をかけずにつくることが重要です。

「つくる仕事」には、多様な職種があ
ります。世の中のニーズを調べ、どんな
商品をつくるか考える商品企画職、新
しい材料や技術を生み出したり、それ
らを商品に生かす方法を考えたりする
研究職、工場での生産工程にかかわる
生産技術職など、さまざまな人たちが
協力して、一つの商品をつくり上げてい
きます。

自分がつくり上げた商品が世の中に
出て、人の役に立ったり人を喜ばせたり
するということも、「つくる仕事」の大きな
魅力と言えるでしょう。



Part 1

「つくる仕事」の一日を
見て！ 知ろう！

はじめに 2

会社って、どんなところ？ 8

会社員って、どんな仕事？ 9

会社にはどんな仕事があるの？ 10

「つくる仕事」のいろいろな職種 12



文房具メーカーの商品企画職の一日 14

9:00 出社、情報収集 15

10:00 企画会議 16

コラム 新しい商品が
発売されるまでの流れ 17

10:00 試作品の作製 26

13:00 使用感や機能の評価 27

15:00 データの考察 28

17:15 終業 28

コラム 論文作成や
学会・展示会での発表も 29

精密機器メーカーの生産技術職の一日 30

8:00 出社、業務管理 31

8:30 新製品の図面検討会 32

コラム ものづくりには
どんな工程があるの？ 33

13:00 生産工程の問題点の解析 34

15:00 コストダウンの検討 35

ある日の
仕事 生産現場からの相談 36

16:00 進行状況の確認 37

16:30 終業 37

日用品メーカーの研究職の一日 22

8:30 出社、スケジュールの確認 23

9:00 企画部門との打ち合わせ 24

コラム 海外で販売する商品も開発 25

11:00 フィールドワーク 18

13:00 会議の準備 19

15:30 製品化決定会議 20

18:00 終業 20

コラム 商品を手にとってもらうために 21

インタビュー編

ほかにもある！いろいろな「つくる仕事」

INTERVIEW 1	化学メーカーの研究職	38
INTERVIEW 2	製薬メーカーの生産管理職	40
INTERVIEW 3	ゲーム会社のゲームプランナー	42
INTERVIEW 4	家電メーカーの設計エンジニア	44
INTERVIEW 5	スポーツ用品メーカーのデザイン職	46
もっと！	教えて！「つくる仕事」	48



目指せ！「つくる仕事」 どうやったらなれるの？

「つくる仕事」に就くには、どんなルートがあるの？	50
会社員になるための試験って、どんなもの？	52
「つくる仕事」に関することを学ぶには？	54
「つくる仕事」に向いているのはどんな人？	56
中学・高校でやっておくといいことはある？	58
「つくる仕事」で働く人って、どのくらいいるの？	60
「つくる仕事」の業界ごとの特徴は？	62
会社員にもいろいろな働き方があるの？	66
「つくる仕事」でキャリアアップするには？	68
収入はどのくらい？ 就職はしやすいの？	70
「つくる仕事」は、これからどうなっていく？	72
「つくる仕事」の職場体験って、できる？	74



※この本の内容や情報は、制作時点(2024年8月)のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

Part
1

「つくる仕事」の 一日を 見て！ 知ろう！

文房具メーカーの商品企画職、
日用品メーカーの研究職、
精密機器メーカーの生産技術職、
それぞれの一日に密着！

ものづくりのスペシャリスト！

「つくる仕事」のいろいろな職種

新しい商品が形になって私たちの手もとに届くまでには、多くの工程があります。
どんな職種の人たちがどんな仕事をしているのか、
大まかな工程ごとに見てみましょう。

開発：どんなものをどうやってつくるか考える

● 研究職

新たな素材や技術について研究する職種です。その素材や技術を、商品にどのように生かすことができるか、使い道を考えるのも、研究職の仕事です。

● 商品企画職

市場(商品が売買される範囲)にどんなニーズがあるのかを調査・分析して、これから売れそうな商品を企画し、ほかの職種と協力して形にしていける職種です。

● 商品開発職、設計エンジニア

商品企画職が考えた企画をもとに、どうすればその商品を実現することができるかを考える職種。使う材料や、その組み合わせ方など、具体的な方法を考えます。

● デザイン職(デザイナー)

商品自体の形や色、素材、あるいはパッケージなどをデザインする職種です。見た目の美しさだけでなく、使いやすさや安全性にも配慮してデザインします。

生産：設計に従って品質のよい製品をつくる

● 生産技術職

工場でのものづくりをするための手順や設備を整える職種です。品質のよいものを安くつくれるように、そして、安全に効率よく作業ができるようにします。

● 生産管理職

必要な数の製品を効率よく、確実に生産するために、スケジュールを立てたり、材料や部品、設備、人員などの管理をしたりする職種です。

● 製造職(技能職)

工場で実際に手を動かして、製品をつくる職種です。作業内容には、加工、組み立て、検査などの種類があり、機械を用いて作業することも多いです。

● 品質管理職

生産された製品の品質をチェックし、不具合のある製品を出荷しないように管理する職種。品質を保つために、生産工程の管理にたずさわることもあります。

商品のアイデアは
どこから思いつくの？

おはよう
ございます！



9:00

出社、 情報収集

へえー、
女子高校生には、
今、こんなものが
人気なんだ！



オフィス内は、フリーアドレスといって席が固定されていないスタイル。ソファ席や、立ったまま仕事ができるデスクなど、好きな席を選んで仕事ができます。

会社が「スーパーフレックスタイム制度」を導入しているので、始業や終業の時刻は自由です。たいていは電車が混雑する時間帯をさけて、9時ごろに出社します。スーパーフレックスタイム制度では、1か月単位で決められた時間勤務すれば、一日の勤務時間も自由に調整できます。仕事内容によって、在宅での勤務も可能です。

出社したら、メールをチェックしたあと、インターネットでニュースに目を通します。文具の新商品や流行はもちろん、「景気の変化」「少子高齢化」など、社会や政治、経済のニュースまで幅広くアンテナを張り、どんな商品が求められているのか、そのヒントを見つけるのです。特に気になった情報は、スライドにまとめて、同じ部署のメンバーと共有します。文具店などに出かけて情報収集をすることもあります(18ページ)。

流行や社会情勢をチェックし、 新商品開発のヒントに



ONE DAY

文房具メーカーの 商品企画職の一日

取材に協力してくれた会社員

加藤 菜々子さん (28歳)

コクヨ株式会社
グローバルステーションリー事業本部

Q どうしてこの仕事に 就いたのですか？

幼いころからの夢は小学校の先生でしたが、中学生のとき、「コクヨの社員になりたい」と思うようになりました。コクヨのドット入り罫線のノートを使って、「少しのくふうでこんなに書きやすくなるんだ」と感動したからです。大学卒業後、小学校の先生を3年間経験しましたが、やっぱりコクヨで商品開発をしてみたいと思い、転職しました。

Q この仕事の おもしろいところは？

自分の考えたアイデアが商品になって、いろいろな人に使ってもらえるのは大きな喜びです。また、企画チームのメンバーや他部署の人といっしょに、ああでもない、こうでもないという意見を出し合って、協力して一つのものをつくり上げていく過程も、とても楽しく、やりがいを感じます。

ある一日のスケジュール

- 9:00 出社、情報収集
- ▼
- 10:00 企画会議
- ▼
- 11:00 フィールドワーク
- ▼
- 12:00 昼休み
- ▼
- 13:00 会議の準備
- ▼
- 15:30 製品化決定会議
- ▼
- 18:00 終業

新しい商品が発売されるまでの流れ

企画から発売までの期間は、1年から2年くらい。
さまざまな部署が協力することで、新商品のアイデアが形になります。

多くの会社では、新商品の開発は、商品企画職が最初に新商品のアイデアを考へるところから始まります。そして、企画の生みの親である商品企画職がリーダー的な役割を務め、さまざまな職種の人たちが協力して進行していきます。企画から発売までの期間は、文房具の場合、短くて1年、長ければ2年くらいかかります。企画会議を経て企画内容がかたまったら、まず試作品を作成します。例えば同じボールペンでも、その材質や形はさまざまなので、どんな材料を使うか、どんな形にするかを検討し、実際に新しいボールペンをつくってみるのです。試作品は工場で作ることもあれば、ものによっては、商品開発部門の人が簡単な道具を

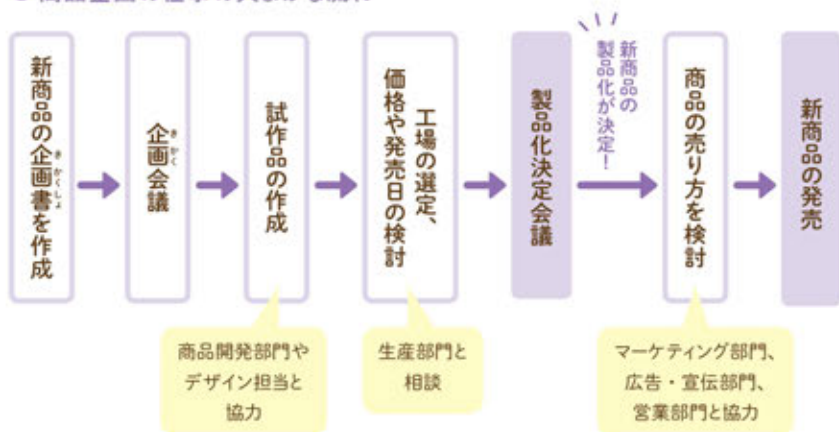
使って手づくりすることもあります。

その後、生産部門と協力して、商品を製造する工場を選んで発売までのスケジュールを調整したり、製造にかかる費用を計算して商品を販売する価格を決めたりします。価格をおさえるために材料や形を見直すこともあります。

そして、最後の難関が製品化決定会議(20ページ)です。ここで、さまざまな部門の責任者から認められると、ようやく新商品の製品化が決定します。

製品化が決まったら、発売に向けて宣伝部門やマーケティング部門(販売促進部門)、営業部門と連携。商品売る戦略を考えたり、文房具店など小売店との取引に必要な資料を用意したりします。

商品企画の仕事の大まかな流れ



企画会議では どんなことを話し合うの?



商品開発部門など別の部署の人が企画会議に参加することもあります。商品開発は、商品企画がまとめた企画書をもとに、実際の商品を形にしていく仕事です。

お客さまに求められる商品とは？
チームでアイデアを話し合います

新しい商品の企画はたいいてい、「女子高校生をターゲットにした新商品を出したい」「売上〇〇万円を達成するための企画を出してほしい」といった会社の方針をもとにスタートします。一つの案件を、商品企画職3〜4人のチームで担当。企画会議で話し合い、企画内容をまとめていきます。

企画を考える際に、必ず行うのが市場調査です。どんな商品が、どんな人に、どれくらい売れているのか、ライバル会社の商品の売れ行きはどうかなど、あらゆるデータを集めます。そこから世の中の流行やニーズ(求められているもの)を分析。「お客さまが喜ぶ商品」「売れる商品」を考え、意見を出し合いながら企画を具体化していきます。

商品企画職は、多いときは一人が5つほどの案件を同時に担当しています。一つの案件ごとに、週1回の企画会議を行います。

INTERVIEW ①

化学メーカーの研究職



秋山 崇文さん

トーヨーケム株式会社 (artienceグループ)
ポリマー材料研究所第1G製品化T

Q3 なぜこの仕事に就いたのですか？

高校時代から化学の授業がいちばん楽しく、部活動でも化学部に所属し、大学でも化学科を専攻し、化学漬けの生活を送ってきました。その流れで自然と、「好きな化学を仕事にできないか」と考え、就職活動でも化学メーカーを志望し、探していました。そんななかで、現在勤務する会社に出会い、経営理念や社員の方から肌で感じた真面目な社風、挑戦を推奨する雰囲気私にマッチしていると思い、入社を決めました。

大学でもポリマー関連の研究をしていたため、その知識が現在の接着剤開発の仕事で生かせる場面も多いです。

Q1 どんな仕事をしているのですか？

ポリマー*開発のスペシャリストを目指し、日々研究業務にとり組んでいます。私がおもに開発しているのは、接着剤として使うポリマーです。まずは、自身でポリマーの処方(料理のレシピのようなもの)を考えて合成し、実験室で数百グラム程度の接着剤をつくります。そして、性能評価を実施したうえでお客さまに提案。お客さまと相談しながら試作と改良を進めます。採用されたら工場生産しますが、その規模は大きいもので10トンにもなります。同じ接着剤とはいえ、規模がまったくちがうため、つくり方を変えるなど、難しい調整が必要です。

Q2 おもしろいところややりがいは？

私が現在開発している接着剤は、ラミネート型リチウムイオン電池*の外装部分で使用されています。ラミネート型にすることで軽量化でき、形状も自由に設計できるため、スマホやパソコン、電気自動車など、いろいろなところで採用され、暮らしに役立っています。

近年、環境規制の観点から、日本でも電気自動車の普及が進められており、ラミネート型リチウムイオン電池の需要が高まると予想されています。社会や環境に貢献できる製品の開発にたずさわれることに、大きなやりがいを感じます。

処方通りに
つくれて
いるかな？



お客さまに提案するための接着剤を、まずは実験室レベルで数百グラム程度つくります。

生産品が完成！
いよいよ出荷だ



試作と改良をくり返し、最終的に生産される量は数トン。自分の開発した製品が工場の大きなドラム缶に入って並んでいると、うれしくなります。

お客さまと何度も打ち合わせを重ね、試作する接着剤を決定。自社工場の小さい反応装置を使用して、数百キログラムの試作を行います。



ポリマー

くさりのように長い構造の分子で構成される物質または材料。多くの種類があり、特性もさまざまで、広範囲に活用されている。ポリエチレン袋やペットボトルの原料もポリマーの一種。

ラミネート型 リチウムイオン電池

薄いシート状の電極を何枚も重ねた構造のリチウムイオン電池。外装のラミネートフィルムをはり合わせるのに接着剤を使っている。

Part
2

目指せ! 「つくる仕事」
どうやったら
なれるの?

もっと! 教えて! 「つくる仕事」

A 生産技術職として、工場の生産工程を整える仕事をしています。製造を担当する現場から「もっとこうしたい」といった意見をもらい、設備や工程を改良した結果、「作業がしやすくなった」などと、直接感想を聞くことができるのは、この仕事のよいところです。自分の仕事が現場の役に立っていることをダイレクトに感じることができ、この仕事に就いてよかったと思います。
(20代・生産技術職・男性)

Q1
この仕事に就いて
よかったと
思ったことを
教えて!

Q2
この仕事をしていて、
大変なこと、
苦勞したことを
教えて!

A 自分がエンジニアとして担当した商品を、店頭で販売する機会があったのですが、お客さまに商品の特長や魅力を説明して、買っていただけたときは、とてもうれしかったです。また、すでに購入して使っているというお客さまのお話も聞くことができました。開発はとても大変でしたが、この製品にたずさわることができてよかったなと思いました。
(20代・設計エンジニア・女性)

A スニーカーのデザインの仕事では、パターンというシューズの展開図やソール(靴底の部分)の図面などを作成して、工場にシューズの製作を依頼します。材料によって性質が異なり、特にソールはクッション性や軽量性、耐久性をもたせるために特殊な材料を使うので、思っていたようなバランスにならないことも多く、予測しながらミリ単位で調整していくことが、楽しい部分でもあり、苦勞する部分でもあります。
(20代・デザイン職・男性)

A 開発の仕事をするにあたって、多くの新しい知識を身につける必要があったので、苦勞しました。最初のころは、会議に出ても分からない単語だらけで、まったくついていけませんでした。特に資料が少ない分野だったため、調べてもほしい情報が得られないことが多々ありました。しかし、先輩社員や同僚に相談しやすい環境が整っていたので、気軽に質問することができ、少しずつ知識を吸収することができています。
(20代・研究職・男性)

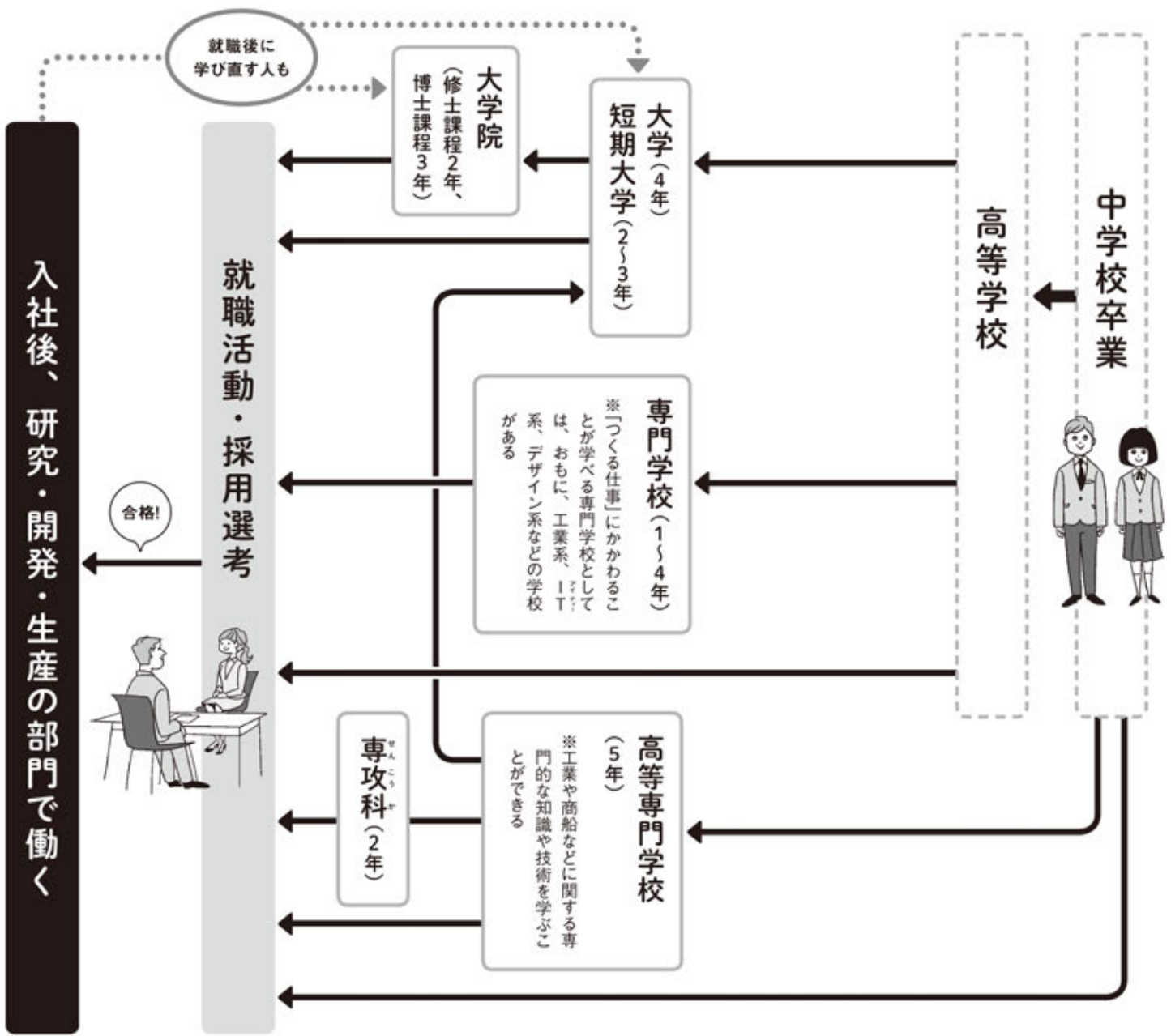
「つくる仕事」に就くには、どんなルートがあるの？

研究職や技術職なら、
大学で理系の学部・学科へ

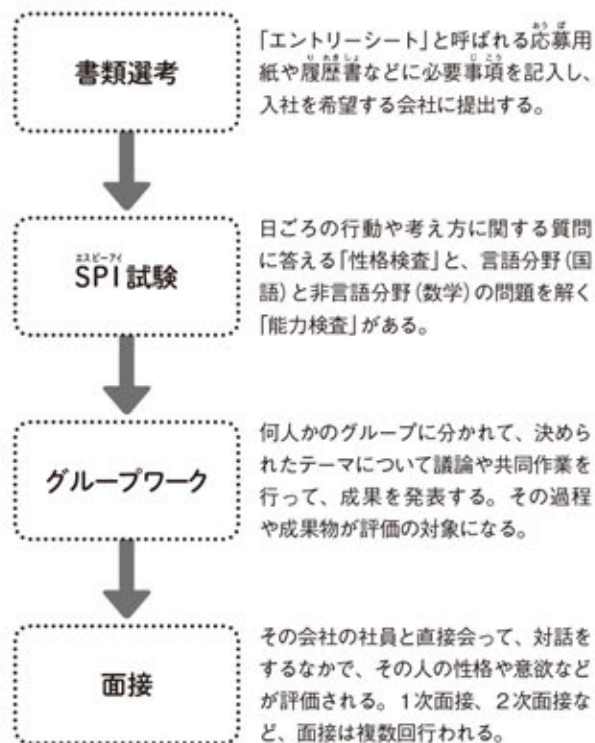
会社員として「つくる仕事」に就くために、特別な資格は必要ありません。会社に就職して、研究・開発・生産を担当する部門に配属されれば、だれでも「つくる仕事」に就くことができます。ただし、研究職や技術職に関しては、

大学で理系の学部・学科を専攻していた人を採用する会社がほとんどです。採用選考の際には、職種ごとに、専攻を指定して社員を募集する会社が目立ちます。専門的な知識や技術が必要な業界・職種では、大学院修了者を求める会社もあります。会社によっては、高等専門学校(高専)卒業を、大学卒業と同等の学歴としてあつかうこともあります。高専では工業系の

高度な知識や技術を学べるからです。工場で働く技能職(56ページ)、IT業界のプログラマーやエンジニア、メーカーのデザイン職なら、高校卒業後、専門学校で学ぶルートもあります。どんなものをつくるかを考える商品企画職については、学部や学科を問わず募集がありますが、大学卒業の学歴を求める会社がほとんどです。



一般的な採用選考の流れ



SPI試験では、中学1~2年レベルの国語や数学の問題が出る。今のうちにしっかり勉強しておこう!



面接では、学生のときがなかったこと、その会社を志望した理由、自己PRなどを聞かれることが多い

書類選考のあと、筆記試験と面接を行うのが一般的。

会社の採用選考は一般的に、「書類選考」「筆記試験」「面接」の順に行われ、合格した人のみが次の段階に進むことができます。

試験や面接の内容は会社によってちがいますが、筆記試験については多くの会社がSPI試験という適性検査を行っています。技術職や研究職の場合、専門知識を問う筆記試験もあります。面接では、面接官と対話する形だけでなく、グループワークが行われることもあります。

そのほかに、「インターンシップ」を行う会社も増えています。これは、学生が実際に会社で仕事を体験したり、働く人から話を聞いたりできる機会を設ける制度です。

また、理系特有の制度として、学校推薦での就職があります。大学や研究室に寄せられた推薦求人に応募する形で、通常の採用選考よりも合格率が高くなります。

会社の情報を集めるには?

大学のキャリアセンターで調べる

各大学にあるキャリアセンターでは、相談員に卒業後の進路や就職活動について相談したり、社員を募集している会社の情報を調べたりすることができます。



インターネットで調べる

インターネット上には、学生の就職活動を支援するための情報や機能が集まった「就職情報サイト」がいくつもあります。業界や会社についての情報や採用情報などを調べたり、社員募集に応募したりすることができます。

まずやるべきことは情報収集。働きたい会社を見つけます

「つくる仕事」に限らず、会社員になるためには、それぞれの会社が行う採用選考を受けて、合格しなければなりません。

まず必要なのが、業界や会社の情報を集めることです。業界とは、世の中にある会社を事業内容によって分けた区分のことです。例えば、自動車業界、食品業界など、さまざまな業界があります。自分が興味のある業界で社員を募集している会社を探し、一社一社、業績や働きやすさなどの情報を集め、自分が働きたい会社を選ぶのです。

業界や会社にかかわる情報は、インターネットの就職情報サイトや書籍、大学のキャリアセンターで調べることができます。

会社員になるための試験って、どんなもの?